

授業科目 臨床実習 I

【担当教員名】 言語聴覚学科教員全員 他	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 リハビリテーション専門病院を主に関連病院及び施設における言語聴覚部門の位置づけについて学び、その施設のもつ特性、同じ職場で働く各専門職の役割と連携のあり方、業務の流れ等について理解する。また実際の言語聴覚訓練療法場面を見学し、言語聴覚士と患者とのかかわりについて知るとともに、「専門職」に向けての自覚を持つ。 実習にあたっては言語聴覚士の業務内容について、事前に学習しておくこと。また見学実習が主体なので服装、言葉づかい、態度に十分留意すること。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 見学施設の概要を把握し、施設についての基礎知識を学ぶ。 2. 施設における各専門職の役割や業務、連携等について理解する。 3. 言語聴覚訓練場面における言語聴覚士の患者に対する訓練や評価の内容、説明の仕方や接し方、態度について見学する。 4. 見学した知識、事柄について整理し、言語聴覚士の業務、リハビリテーション専門施設への理解を深める。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	施設見学の心得、各施設の特性、見学症例などに関する事前学習		1	事前セミナー
2	新潟リハビリテーション病院及び他の病院・施設での見学実習		2	グループで見学
3	新潟リハビリテーション病院及び他の病院・施設での見学実習		3	グループで見学
4	新潟リハビリテーション病院及び他の病院・施設での見学実習		4	グループで見学
5	言語聴覚士の業務、病院・施設の専門性について理解する。事後学習とまとめ		4	グループで討議し、まとめる
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	実習手引きを配布する			
【評価方法】 出席と実習記録ノートの記載内容について評価する。		【履修上の留意点】 実習の日程、施設、グループ分けなどについては追って知らせる。		